

丘珠高だより

PTA広報委員会発行
第129号



「母校」への思い

校長 能登 啓児

本校は昭和50年4月に開校し、今年度50周年を迎え、11月2日に記念式典・記念講演を実施しました。保護者の皆様や同窓生にも広く出席のお声がけをすべくでしたが、協賛会の主体である同窓会の意向もあり、生徒中心の式典とさせていただきます。

当日は、本校の卒業生でラジオパーソナリティの北川久仁子さん司会のもと、元日本ハムファイターズのエースで野球解説者の岩本勉さんによる熱量ある講演など50周年にふさわしい式典・講演を実施することができました。また、記念事業として全普通教室の遮光カーテン設置や屋外用ベンチセット、行事用テント等を寄贈していただきました。

これまで1万7千人を超える卒業生が本校を巣立ちました。思い入れの浅深に係わらず、全ての同窓生にとって丘珠高校は他に代えようのない「母校」です。多くの卒業生にとって母校への思いは卒業後、何年経っても（経てば経つほど）続きます。部活動の活躍や特色ある取組などを新聞やニュースで目にすると嬉

しく思い、逆に不名誉な報道を目にするとかは心をも痛めるものです。

私は父親の仕事の都合で小学校、高校で転校を経験したため2つの高校に通いましたが、2校とも自分にとって紛れもない「母校」です。卒業して40年が経つ今でも母校を応援する気持ちに変わりはありません。一方、入学した道北の高校が少子化のため閉校になることを知ったときには涙が出るほどの悲しさを覚えてました。

教職員にとって、勤務する学校は「母校」とは言えませんが、思いは同じです。これまで7校に勤務しましたが、すべての勤務校の校歌を覚えて（初任校の校歌を見なくても3番まで）ことがちょっとした自慢です。

卒業する3年生はもろろん、在校生にとっても、丘珠高校がいずれ「母校」となります。50周年の節目にあたり、卒業生が胸を張って「わたしの母校は丘珠高校です。」と言えるよう、一層魅力ある学校づくりを進める責務と覚悟を感じています。



令和6年9月18日撮影 48期生

卒業に寄せて

PTA会長 辻 佳代子



卒業おめでとう
ございます。

三年前、皆さんは
どんな想いで丘珠高
校へ入学されたので
しょうか。たとえば、勉強を頑張る。部
活動を頑張る。毎日楽しく学校へ通う。
早起きする。遅刻をしない。友達をたく
さん作る。自分の好きなことを見つけた
い……。どんなことでもいいんです！三年
経った今、何か一つでも丘珠高校に入学
してよかったと思うことはありますか？
何か大きなことを成し遂げることは素晴
らしいですが、私は日々の生活のちよっ
とした幸せや、楽しさが人生をより豊か
なものにしてくれると思っています。

これから大人の世界に飛び込むと、い
ろいろな人がいて、理不尽なことを言わ
れたり、努力が報われなかったり、絶望
感を味わうことがあるかもしれません。
実際に私がそうでした。そんなときは無
理をせず、周りの人を頼って休んでみて
ください。そして、前に進む活力が戻っ
てきたら、一歩を踏み出す。そうやって
少しずつでよいので、自分のストーリー
を作り上げて行ってください。卒業生の
皆さんが自分を大切に、人生を豊かに
輝いて歩んでいけるよう、心から願っ
ています。

保護者の皆様、まずは三年間のお并
作り、お疲れ様でした。日々応援し、支
えてきた想いを受け、お子様は、これか
らそれぞれの道へ飛び立つパワーにして
くれるはずです。また、今年度のPTA・
後援会活動にご理解とご協力をいただき
ましたこと、心より感謝申し上げます。
校長先生、教職員の皆様、PTA活動
を支えていただいた役員の皆様、この丘
珠高だより発行にあたりご協力いただい
た全ての皆様に熱く御礼申し上げます。

卒業おめでとう

3学年主任 水島 敬



卒業生の皆さん、
卒業おめでとうござ
います。

皆さんは開校50周
年の歴史と伝統ある
本校において、多くの思い出と大きな成
長を手に入れ、本日卒業の日を迎えまし
た。

これはもちろん、皆さん自身の努力の
たまものであると同時に、これまで温か
なまなざしで皆さんを見守ってくださ
った保護者の皆様、皆さんの先輩や後輩、
先生方など皆さんをつつむ全ての方々の
ご支援やご指導があったからこそです。
決して自分一人の力で今日の日を迎えた
などとは考えないでください。感謝の気
持ちは忘れることなく、今後一層の精進
を重ねるよう期待してやみません。

保護者の皆様、お子様のご卒業に心か
らお祝いを申し上げます。

三年前の、凛々しくも初々しかった新
入生の頃を思い出せば、本日はたくま
しく成長されたお子様の晴れの姿に、これ
までの様々な思い出が顔をよぎり、感慨も
ひとしおのことと拝察いたします。また、
入学以来、皆様には、本校の教育活動推
進のために、いつも多大なるご理解とご
支援を賜りました。重ねて、心よりお礼
申し上げます。

本日はご卒業おめでとうございました。

卒業おめでとうござい

3年1組担任 松本 真吉



48期生の生徒と保
護者の皆様、ご卒業
おめでとうございま
す。

新型コロナウイルス
感染症は、学校生活にも様々な制限を
もたらしました。特に1年生の時は、学

級閉鎖や学年閉鎖があったり、密になら
ないような形式での学校行事、厳しい制
約のあった部活動などありました。新
型コロナウイルス感染症が5類感染症と
なつてからは、徐々に本来の学校生活へ
戻りつつあります。しかしながら、数年
間の制限付きの学校生活は、人とのつな
がり方やコミュニケーションのとり方など
を学ぶ機会が少なくなり、学校生活の中
での「自分のあり方」や「振る舞い方」に
少々悩むこともあったのではないで
しょうか。

3年生になってからは、学習などに全
力投球し、進路を多くの生徒が確定させ
ました。部活動でも、多くの生徒が後輩
たちの模範となる活動をしてください
ました。今は、多くの生徒が4月からの新生
活を不安と期待でいっぱいでしょう。生
徒たちには、常に感謝の気持ちを忘れる
ことなく、それぞれの進路先で精一杯頑
張り、活躍してもらいたいと思います。
そして、本校卒業生として、丘珠高校を
支援してくれることを願っています。

三年間という短い期間でしたが、保護
者の皆様はお世話になりました。あり
がとうございました。

「自分のすべて」

3年2組担任 北村 智弘



卒業生の皆様、卒
業おめでとうござい
ます。また、保護者
の皆様におかれまし
ても、これまでのご
協力感謝申し上げます。ありがとうござ
いました。

卒業生の皆さんにとつての高校生活は
充実していましたか？学習への取り組み
はもうほとんどですが、部活動や行事でも
様々な思い出が残っているのではないで
しょうか。思い通りにいかなかったとし
ても、この3年間の生活は、必ずみなさ
んの力になっていると信じています。
突然ですが「人生にとって最も大切な

ことは何ですか？」突拍子もない質問で
すが、このことに疑問を持ったアメリカ
の小学生ボーバウマン君は、この疑問を
解決するため、多くの有名な人から近所の
大人にこの質問を投げかけたそうです。
人によってその答えはまちまちなんです
が、天才宇宙物理学者として有名なアル
バート・アインシュタイン博士は「自分のす
べてを使うことだよ」と答えたそうです。
博士はその時、難病に冒され首から下の
身体が自由に動かなくなっていたといま
す。そうした状況下にあっても自分の研
究を続け、まばたきでコンピュータを操
作し、論文を書き続けていたそうです。
私はそのエピソードに感動しました。

「自分のすべてを使うこと」決して簡
単なことではなく、そもそも「自分のす
べて」が何なのか。これまでの人生の中
で獲得した「自分らしさ」を自覚し、そ
して、これからの出会いや経験の中で身
につけた「自分らしさ」を強みにして素
敵な人生を送って欲しいと思っています。
がんばれ！第48期生！！

卒業おめでとう

3年3組担任 竹林 美春



生徒の皆さん、ご
卒業おめでとうござ
います。そして保護
者の皆様、この三年
間温かいご支援・ご
協力をいただきましたことを感謝申し上
げます。

私が初めて担任を持った生徒が皆さん
です。これまで色々な失敗もしてしま
したが、皆さんにとっては一度きりの高校
生活なので、自分なりに緊張感と責任感
を持って担任をしてきました。今年は卒
業担任ということで、皆さんから感謝の
言葉を受け取る機会も多く、嬉しかった
です。

3年3組は、勉強が得意なクラスでも
行事に強いクラスでもありませんが(笑)
優しい人が多いクラスだと思っています。友

達が困っていたら相談に乗ってあげたり、担任が重たいものを持っていたら手伝ってくれたり。そういう小さな優しさや日常的に見られるクラスだと思えます。再三、この世には勉強ができることより大切なことが山ほどあると言っていました。皆さんは少しずつそれを分かってくれてくれている気がしています。

最後に、私が三年前の入学式の日、1年6組の生徒に伝えたことを、もう一度3年3組の生徒に伝えたいと思います。私はまだ経験していませんが、卒業まで約十八年間、子どもを育てるということは大変なことだと思っています。皆さんを育ててくれた保護者に休みはありません。一度の過ちや不運で命を失ってしまうこともありますので、二百六十五日、二十四時間、気が抜けません。せつかくの人生の節目ですから、感謝の気持ちを、保護者に伝えて欲しいと思います。照れくさかったら、プレゼントを贈るのも良いでしょう。保護者にとっては、それが何より嬉しい思い出になると思いますよ。

信頼され、評価される人になるには

3年4組担任 垣中 寛久



周りの人から信頼され、評価される人とはどのような人でしょうか。みなさんが卒業するに当たって私も少し考えてみました。

一般的に成功していると思われる人とは、例えば次のような人です。

中学生の時から勉強を頑張り、進学校から有名大学を経て、一流企業に就職できた人。

では、この成功した人の考え、行動とは何でしょう。勉強は大変だ、面倒くさい無駄だと分かっているながらも我慢して目標のために頑張り続けられること。

そう、最後は与えられたことを我慢し、そのための努力を継続できた人が社会的評価、信頼を勝ち取ることができる。こ

れが日本社会の現実ですね。

翻ってみなさんはどうでしょうか。無駄だ、つまらないと思った授業を頑張れましたか。ほとんどの人が授業を通して、一方的に与えられた授業内容をこなす日々にはうんざり……。最終的に卒業さえできればいいや、という人が大半ではなかったでしょうか？

みなさんのこれからの進路先、大学、専門学校、就職先では好きなことばかりできる訳ではありません。受けたくない授業、やりたくない仕事を押しつけられることが必ずあります。そのような時、黙々と我慢してやり続けること。これが周囲から信頼され評価されるために大切なことです。

ということ、与えられた授業や仕事を嫌がらずに頑張れば、周囲の人たちから信頼され、きっといい学生生活、社会生活が送れますよ。卒業おめでとう、これからも頑張ろうね！

「卒業おめでとうございませう」

3年5組担任 小池 公章



3年5組の生徒のみなさん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。三年間の様々なPTA活動でのご協力本当にありがとうございました。

今日の卒業式までの間、様々な出来事を経て長いようで短い三年間だったと思います。私自身も田舎から札幌に転動してきていきなり出会った丘珠生に戸惑うことばかりの毎日でしたが、関わっていくうちにどこにもいない素朴な高校生たちだと実感しました。多感な時期で傷つきやすい中、日々悩み苦しみながらもそれでも前を向いて、行事や部活動など楽しみは全力で取り組んで、進路活動も一生懸命努力して、勉強もまあそれなりにとあえすちよとやって充実した三年間だったと思います。

これから社会に出たら大きな壁が立ちまはかります。というかすつと壁だらけかもしれません。でもそんな時でも他者に対して優しくしてあげてください。友達でも道で困っているお年寄りや外国人でも自分から声をかけ優しさを示してください。その優しさはきっといつかめぐりめぐって、みなさんが一番苦しいときに誰かの優しさによって助けられるときがやってきます。それを信じて社会に出て誠実に生きてください。「情けは人のためならず」です。

卒業おめでとうございませう

3年6組担任 川崎 恭子



卒業という新たな門出の日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。そして、高校生活を支え、共に歩んでこられた保護者の皆さまにも、深い感謝と敬意を表します。誠にありがとうございました。

卒業は一つの区切りであり、同時に新たな旅立ちです。これまでの道のりを振り返れば、多くの努力や挑戦、時には挫折もあったことでしょう。それでも、みなさんはそのひとつひとつを乗り越え、卒業式という日を迎えました。この経験は、みなさんの心に強い自信と確かな成長をもたらしているはずです。

保護者の皆さまが見守り、励まし、時に厳しく接してくださったおかげで、立派に成長し、卒業式を迎えることができました。高校生活の中で学んだことは、勉強だけではなく、人とのつながり、困難に向き合う力、そして自分を信じる勇氣だと思えます。その土台を作られたのは、保護者の皆さまの愛情と支えに他なりません。

これから卒業生のみなさんが歩む道は、決して平坦ではないかもしれませんが、しかし、今まで積み重ねてきた努力と経験、これまでに得た友情や教養が、必ず道を照らしてくれることでしょう。失敗を恐れず、自分の道を切り開いてください。最後になりますが、卒業生のみなさんの未来が希望に満ち、素晴らしいものであることを心から願っています。これからの皆さんの活躍を楽しみにしています。

ATMのAって何だっけ

3年7組担任 太田 永理



丘珠高校第48期生の皆さん、卒業おめでとうございませう。また、これまでの日々を支え続けてくださった保護者の皆様には、ご理解と協力、まことに感謝申し上げます。

かつて自分が高校生だった頃、「親にも先生方にもお世話にはなつたが、心配をかけたつもりはない」と思っていました。しっかりと生きていたつもりだったので、ようやく、はかだったなあと思います。昨日と今日の切れ間なく、寄り添い励まし、押し引きしたりしながら信じ続けてくれた大人が、どんな思いで自分の背中を見守っていたのかなど、想像できなかったのです。しかし卒業式の最後のHRで担任の先生に、「君たちは、新しい生活に希望を持って夢中で前を向いていると思うが、今、君たちの後ろには、君たちを応援している親がいる。ちゃんと『ありがとう』を伝えることから、次のステップに進みなさい。」と言われたとき、自分の未熟さが恥ずかしくて、後ろを見ることができませんでした。

今日、「ありがとう」を言わなくても明日はくるけれど、言える人生のほうがきっと、すてきです。あなたがたが高校生活で身につけた力は、例えばここで「ありがとう」を心から伝えられる勇氣のようなものであると、私は思っています。あなたの言葉で、あなたが幸せに導かれてゆくことを、心から願っています。三年間、ともに歩んできて、ありがとうございませう。

第48期生 思い出の日々

入学式



宿泊研修



見学旅行



体育大会



マラソン大会



令和6年度 2学年見学旅行報告

2 学年主任 佐藤 貴之

高校生活最大のイベントである見学旅行に12月6日(金)～9日(月)3泊4日の日程で沖縄に行ってきました。年度当初より学年集会や保護者説明会等で宣言していた通り、見学旅行の成功ではなく、「大成功」を学年テーマと掲げ、学年全体として取り組んできました。事前学習では沖縄の歴史と平和学習から始まり、沖縄県立本部高校とのオンライン交流、沖縄の事前学習発表会、自主研修計画立案など、準備に時間をかけ、出発しました。

(1日目)

新千歳空港では朝7時30分集合だったにもかかわらず、誰一人遅刻することなく集合。初めて飛行機に乗る生徒も多く、離陸の際には若干の歓声が上がる(ウオー)。羽田を経由し、無事沖縄那覇空港到着。湿気のある暖かい空気に北海道との違いを感じること、沖縄に到着したことを実感しました。その後夕食をかねて自主研修に出発。自主研修のメインである国際通りの賑やかさに圧倒されつつ、初日の夜を思う存分楽しめました。そして、夜のホテルはオリオンTシャツだらけとなりました。

(2日目)

この日の午前中は平和学習。ひめゆり平和祈念資料館と糸数アブチラガマ見学。北海道では普段意識することが少ない、「戦争」「平和」というキーワード。当たり前の平和な日常に感謝してもしきれない貴重な体験をすることができました。午後はおきなわワールドへ。昔は「ハブとマンガースの決闘」だったのですが、時代ですね、「ハブとマンガースのショー」に名を変えていました。そして、感動のホテルへ。部屋のおしゃれなつくりから、大きなテレビ、おいしいbuffetと生徒も教員もハイテンションな夜になりました。

(3日目)

この日はマリントピックと美ら海水族館見学。美ら海水族館ではジンバイザメの大きさにこれまた圧倒され、マリントピックのスノーケリングでは、あそびいち石狩では絶対に味わうことができない海中の美しさに感動しっぱなしでした。終始時間を意識して行動してくれたおかげで、ホテルに戻る時間も予定より早く、ホテルが国際通りに面していたこともあり、予定にはなかった自由外出を許可しました。沖縄最後の夜も思い出に残る夜になったことでしょう。

(4日目)

旅の疲れと見学旅行が終わってしまう寂しさからか、朝食会場ではあまり元気な様子になかったのですが、時間前にホテルを出発し、沖縄の名所、首里城へ。ガイドさんの案内のもと琉球王朝の歴史の一部を感じ、最後の見学場所を後にしました。若干の体調不良者と天候にはあまり恵まれませんでした。生徒たちはたくさん思い出と抱えきれないほどの土産を持ち帰ることができました。心に残る思い出をつくることができたのも保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。今後は見学旅行の「大成功」という経験値を武器に、希望進路の実現に向けてソフトチェンジしていきます。今後とも協力よろしくお願いします。



オーストラリア語学留学

3 年4組 平野 莉奈



私はオーストラリアのブリスベンに10日間留学をして沢山の思い出を作り、様々なことが出来た。行く前は英語を話したり聞き取ったりできるか、また、日本と離れていつもと違う生活を過ごせるか不安だったが、それ以上に楽しみに思う気持ちが強く強かった。特に思い出に残っていることが二つあります。

一つ目は、オーストラリアの小中高生と日本の生徒のみんなでドリームワールドという遊園地へ行ったこと。ドリームワールドではたくさんのアトラクションに乗ったり、現地の生徒とランチをしながらたくさん話すことで交流を深めることができたので楽しかったです。一日中遊んでいたけれど時間が経つのがとても早く感じました。

二つ目は、ホストファミリーと一緒にゲームをして遊んだことです。クリスマスの日とホームステイ最終日には、ホストマザーとホストマザーのお父さんと私たちの4人でYES or NOゲームをしたり、チョコレイトゲームなどをしました。言語が違ってもゲームでは英語を学びながら言葉の壁にぶつからず、みんなで楽しむことができました。

その他にも、観光地やショッピングモールやビーチなど様々なオーストラリアの観光地を巡り、日本とは違う風景や文化を沢山見たり経験したりすることができました。オーストラリアで過ごした10日間は毎日充実していて、時間が過ぎるのが一瞬だったので、また行きたいと思いました。

PTA視察研修を終えて

PTA研修委員長 日向 麻実

本年度のPTA研修は2024年10月3日に小樽方面へ行って参りました。

保護者、教員合わせて総勢21名。たくさんの方にご参加いただきとても賑やかな研修となりました。

当日は、天候もよく予定通り小樽市民ホールの研修室に到着し、小樽の老舗和菓子店「つくし牧田」菓子店による練りきりの体験を行いました。

今回は基本技法を使った、菊、桜、小樽のキャラクター「おたる運がっばちゃん」の3つを作ります。基本の包餡(ほうあん)から花の形やカップの形を作成します。それぞれ参加者の個性が出て可愛らしい作品が出来上がりました。

その後、都通商店街を通りオーセンホテルのビュッフェレストラン「カサブランカ」で昼食を取りました。案内されたのはオーシャンビューの席で眺めもよく好きなものを選ぶ楽しい昼食となりました。

最後は自由散策で「金融博物館」や「世界通り」小樽に本店を構えるルタラヤかま米を見学しとても充実した研修となりました。

今回参加いただいた保護者の皆さま、今年度研修委員会に携わったPTAの方々に改めて御礼申し上げます。



マラソン大会の

お手伝いを終えて

1年5組保護者 竹脇 郁美

月秋晴れのモエリ沼公園にてマラソン大会が開催されました。

今年度も沢山の保護者の皆様にお手伝い頂き、活気、笑顔溢れるマラソン大会になりました。

多大なるご協力、ご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

コース途中の給水所にて生徒たちが保護者の方々より水を受け取る際に「ありがとうございます」と礼儀正しい姿が印象的でした。

私にとっては初めてのマラソン大会でしたが、我が子が走る姿だけではなく、沢山の生徒たちが真剣に走る姿を見る事が出来たこと、本当に良い思い出になりました。

PTAのご父兄の方たちの引率もあり、終始トラブルもなく役割分担できたことも大変心強かったです。

普段はなかなか見ることが出来ない我が子や生徒たちの様子を見ることができ、とてもいい機会となりますので、次年度も是非参加したい方が増えることを願っております。



部活動報告(支部大会他)

※前号の続きから掲載

【野球部】 高野連 秋季北海道高等学校野球大会札幌支部予選 札幌丘珠 3-5 札幌真栄

【陸上競技部】 高野連北海道高等学校新人陸上競技大会 男子 砲丸投 予選敗退 9m20 丸 快斗

男子 走高跳 予選敗退 記録なし 阿部 俊太 高体連北海道 第40回北海道高等学校新人陸上競技大会 男子 3000mSSC 24位 10'54.42 菊地 優大

【男子バスケットボール部】 北海道高等学校体育連盟札幌支部、札幌地区バスケットボール協会 2024年度 全国高等学校バスケットボール選手権大会札幌地区予選会 札幌丘珠 64-92 札幌手稲

北海道高等学校体育連盟札幌支部、札幌地区バスケットボール協会 2024年度 札幌地区高等学校バスケットボール秋季新人大会 札幌丘珠 43-81 札幌新川

2024年度 札幌地区高等学校バスケットボール秋季新人大会 札幌丘珠 62-58 札幌龍谷

【女子バスケットボール部】 北海道バスケットボール協会 2024年度北海道高等学校バスケットボール選手権大会札幌地区予選会 札幌丘珠 30-128 札幌東

北海道バスケットボール協会、北海道高等学校体育連盟札幌支部 2024年度札幌地区高等学校バスケットボール秋季新人大会兼北海道高等学校バスケットボール新人大会札幌地区予選会 札幌丘珠 18-133 札幌新川

札幌丘珠 43-86 江別 札幌英藍 35-110 札幌英藍

【男子バレーボール部】 協会支部 第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦札幌地区予選会 札幌丘珠 0-2 札幌白石

札幌丘珠 0-2 札幌あすかぜ (決勝) 札幌丘珠 0-2 札幌成成

協会支部 令和6年度江別・千歳・札幌地区高校バレーボール新人戦 札幌丘珠 0-2 札幌北陵

協会支部 令和6年度江別・千歳・札幌地区高校バレーボール新人戦 札幌丘珠 0-2 札幌北陵

【女子バレーボール部】 協会支部 第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦札幌地区予選会 札幌丘珠 0-2 石狩瑞穂

札幌丘珠 0-2 札幌北陵 協会支部 令和6年度江別・千歳・札幌地区高校バレーボール新人戦 札幌丘珠 0-2 札幌北陵

【男子ハンドボール部】 協会支部 第65回 札幌市民大会ハンドボール競技予選リーグ

札幌丘珠 35-43 札幌西 札幌丘珠 25-45 札幌月寒 高体連北海道・協会支部 第48回札幌地区高等学校ハンドボール新人大会 札幌丘珠 31-30 札幌新川

1回戦 札幌丘珠 25-31 札幌新川 2回戦 札幌丘珠 40-35 札幌手稲 敗者戦 札幌丘珠 30-37 札幌西

【女子ハンドボール部】 協会支部 第65回 札幌市民大会ハンドボール競技予選リーグ 札幌丘珠 5-46 札幌北陵

予選リーグ 札幌丘珠 9-32 札幌新川 高体連北海道・協会支部 第48回札幌地区高等学校ハンドボール新人大会 札幌丘珠 5-43 札幌静修

2回戦 札幌丘珠 12-22 札幌新川 敗者戦 札幌丘珠 12-22 札幌新川

【サッカー部】 実行委員会 札幌チャレンジャーズ2024 1次ラウンド 第6回 札幌丘珠 1-4 札幌工業

協会支部 第103回 全国高校サッカー選手権大会札幌地区予選 札幌丘珠 0-3 札幌北陵

実行委員会 札幌チャレンジャーズ2024 2次ラウンド 第1回 札幌丘珠 0-1 札幌西陵

2次ラウンド 第2回 札幌丘珠 0-1 札幌工業 2次ラウンド 第3回 札幌丘珠 7-0 札幌北斗

2次ラウンド 第4回 札幌丘珠 0-1 北海道科学大 2次ラウンド 第5回 降雪のため中止

【男子バドミントン部】 協会支部 令和6年度北海道選手権大会 個人・ダブルス 1回戦 草島隆斗・梶谷星来 0-2 札幌真栄

個人・シングルス 1回戦 草島隆斗 1-2 札幌第一 2回戦 青木洗之介 0-2 札幌東商業

2回戦 青木洗之介 0-2 北広島 2回戦 青木洗之介 0-2 札幌白石 2回戦 青木洗之介 0-2 北広島

3回戦 青木洗之介 1-2 大森 2回戦 青木洗之介 0-2 北海学園札幌 3回戦 青木洗之介 0-2 北海学園札幌

協会支部 令和6年度 札幌地区バドミントン協会 会長杯大会 個人・ダブルス 2回戦 岩本楓矢・青木洗之介 2-0 札幌東岩

3回戦 岩本楓矢・青木洗之介 2-0 石狩瑞穂 3回戦 岩本楓矢・青木洗之介 1-2 札幌平岡 3回戦 岩本楓矢・青木洗之介 0-2 札幌北陵

個人・シングルス 2回戦 高橋結法 2-0 当別 3回戦 高橋結法 0-2 北広島 3回戦 高橋結法 0-2 北広島

[illegible]

『進路決定状況』

進路指導部長 山中 勇人

今年度二月一日現在の進路決定状況を伝えたいと思います。進学は総合型選抜や学校推薦型選抜を中心に、私立大学九十一名、短期大学八名、専門学校八十四名が合格しました。就職は公務員十二名(延べ人数)、民間就職二十二名が合格しました。一月に行われた大学入学共通テストには十二名が受験し、三月末まで続く一般選抜試験に挑戦します。

上記にある三年生の進路動向とこれまでの卒業生の進路活動を見てきて、「進路実現」に必要な要素などを以下に示しましたので、在校生及び保護者のみなさんの参考になればと思います。

今年度の進路決定状況
(合格・内定者実人数)

創 価 大 学	1	私立大学	
北海道文教大学	1	北海学園大学	5
北海道千歳リハビリテーション大学校		札幌大学	14
		札幌国際大学	16
短期大学		北海商科大学	2
札幌大谷大学短期大学部	4	北星学園大学	10
札幌国際大学短期大学部	1	札幌学院大学	11
光塩女子短期大学	2	北海道科学大学	4
北海道武蔵女子短期大学	1	日本医療大学	4
		北翔大学	5
専門学校		北海道情報大学	7
専門学校	81	北海道医療大学	4
専門学校(看護学科)	3	東海大学	1
		藤女子大学	1
就職		酪農学園大学	1
民間企業	22	桜美林大学	1
公務員	9	札幌保健医療大学	2

※今年度の数字は、令和6年2月1日現在のものです。

大学・短大への進学においては、一般入試を意識し、さらに入学後の学習にも対応できるように、放課後講習や夏期講習、冬期講習に参加し、模試を受験し、「力をつける」ことをすすめます。その上で、総合型選抜や学校推薦型選抜に挑戦するといった考え方が基本となります。

専門学校への進学では、複数の学校を「見る」「調べる」を行い、比較検討をし、将来性を考えて学校選びを行うと良いと思います。また、自己の考える分野以外にも魅力のある学校がありますので、柔軟性と広い視野をもって進路探究をすることが大切です。

就職については、「応援される人物、応援したくなる人物」であることが重要と考えます。基本としては、欠席遅刻が少ない、もしくは無い、資格取得

が複数ある、校内外の諸活動(委員会活動、部活動、ボランティア活動など)が充実していることなどがあげられます。その上で、明朗、責任感、誠実、清潔感などの「人間性」が問われるものと思います。このことは、進学における面接などでも共通する項目です。

さて、三年生のみならず、このPTA Aだよりが発刊される頃は卒業式を迎えている頃と思います。これからの人生はまだまだ長い道のりですが、高校を卒業し、それぞれの進路に進むことは、大きな分岐点となります。人生は選択の連続と言われます。これからより良い選択で「豊かな人生を」。

令和6年度 後期PTA・後援会活動日誌

10月1日(火) 後期始業式
10月3日(木) PTA視察研修(小樽方面20名)
10月9日(水) 校内マラソン大会給水活動(49名)
10月19日(土) オープンスクール
10月21日(月) PTA中間監査
10月25日(金) 第2回PTA・後援会役員会・運営委員会(中間反省)
11月2日(土) 開校50周年記念式典・記念講演
(司会:北川久仁子氏(本校OG)・講師:岩本勉氏)
12月6日(金) 見学旅行(沖縄 2年生)～9日(月)
12月13日(金) 第1回役員選考委員会
12月18日(水) 卒業考査(3年生)～23日(月)
12月24日(火) 冬季休業～1月15日(水)
12月21日(土) オーストラリア語学研修(2名)～31日(火)
1・2月 スキー授業
2月17日(月) 学校保健委員会
2月18日(火) 後期期末考査～21日(金)
3月1日(土) 第48回卒業証書授与式「丘珠高だより」発行(第129号)
3月14日(金) 第3回PTA・後援会役員会・運営委員会(年度末反省・次年度方針)
3月24日(月) 終業式・離任式

編集後記

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この三年間、色々なことに全力で取り組んできた皆さんが、それぞれに新しい環境の中で自分に自信を持ち、これまで経験したことを大切にしながら、自分らしく頑張っている姿が、とても嬉しいです。

保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

そして、校長先生並びに教職員の皆様、日々心こもった的確な指導に深く感謝申し上げます。

今年は、すべての学校行事や部活動などを行うことができました。広報委員では「より多くの写真を!」との考えから、委員の方々に協力いただき、保護者ならではのアンクルや表情をカメラに収めることができました。生徒たちの活動の様子をほんの一部ですが、写真や文章から皆様にお伝えできればと思っております。

本号の発行にあたりご協力くださいました、すべての皆様に心より感謝申し上げます。また、私事ではありますが、子供の卒業とともにPTA役員を終えることとなります。広報誌から学校や生徒たちの様子、PTA役員の活動内容など興味を持ち、自分も活動に参加したいと思っていました。ただ、三年間ありがとうございました。

(広報委員長 鈴木希恵)